

た。その甲斐あってか、おおむね「先送り」になりました。

*年度末、急激な物価高騰を受け、職員に臨時手当を支給しました。

*寄付は総額250万円いただきました。用途は文化事業や地域交流などに加え、介護保険など制度上の報酬を得られないけれど、見ぬふりはできない困りごと、たとえばコロナワクチン接種の申し込みや会場への付き添いなどの支援の補填とさせていただいています。最近では有償サービスにする事業者が増えています。命にかかわるワクチン接種の手配などは公的な補償があるべきです。国や新座市に働きかけもしてきましたが、なかなか認められない今、このような支援ができるのも寄付があってこそです。大切にに使わせていただいています。

*決算は995万円マイナスとなりました。収入は若干(約800万円)増えたのですが、人件費の上昇と物価高が響きました。この年度から3つ目の職員処遇に特化した介護報酬の加算で、その分の収入は増えています。低賃金で知られた介護職の賃金アップができるのはたいへんありがたい。けれども、基本報酬が上がりませんから、昨今の経費高騰への対応や修繕の費用などは捻出できないというバランスを欠いたことになっています。基本報酬のアップを求めつつ、赤字解消という難問を23年度に引き継ぎます。

2023年度事業計画

*この4月でNPOとして活動開始して20年になりました。生まれたばかりの赤ちゃんが大学生になる歳月です。最初は2事業で始まりましたが、今は利用者総数700余名、ここまでの規模になるとは考えてもいませんでした。記念行事も開催する予定ですので、決まりましたらお知らせします。

*2023年度内にBCP(事業継続計画)策定を求められています。水害、地震、感染症等々と多岐にわたりますから、けっこうたいへんな作業になります。「作ってよかった」ものにしたいと、実行委員会で鋭意検討中です。

*2024年度は、介護保険・医療保険・障害者支援の3報酬同時改定で、23年度中にその骨子が決まります。昨年「先送り」になった介護保険の改悪案も今年

年度中に結論がだされるものもあり、しっかり対応していかねばなりません。また、子育て支援が検討課題になると、高齢者の社会保障費を削って捻出と言いつつ、これ以上介護サービスを削減すれば、ヤングケアラーや介護離職が増えるばかり。しっかりと伝え、「改悪」にストップをかけていきます。



2023年6月25日第21回定例総会

